

(様式1)

令和元年度 岩手県立盛岡第一学校 学校評価報告書

校長：佐藤 有

総合的な評価	学校評価に関する生徒および保護者を対象としたアンケート結果によると、目標値に達しない項目はあるものの、全回答項目の半数が90%を超える評価であった。このことより、学校経営が生徒および保護者の意向に沿った形で展開されているものと評価できる。
--------	---

重点目標	達成指標	自己評価		学校関係者評価	改善方策
		評価項目及び実績等	達成状況		
勉学に真摯に取り組む 気風の確立	生徒アンケートにおいて「授業により力がついていると感じられる」と答えた生徒の割合【95%以上】	生徒アンケートにおいて「授業により力がついていると感じられる」と答えた生徒の割合【91%】	×	<ul style="list-style-type: none"><li>授業の充実が生徒の学力定着に寄与している状況がわかる。</li><li>生徒が自主性を持って取り組む姿勢を涵養する必要がある。</li></ul>	生徒による授業評価を考慮しながら、互観授業や作題検討会を通して教科指導力向上を図る。
センタースクールとしての使命の遂行と個に応じた丁寧な指導の推進	生徒アンケートにおいて「学校は生徒の個性を伸ばし、将来への希望を実現させようと努力している」と答えた生徒の割合【95%以上】 「授業の内容や指示はわかりやすい」と答えた生徒の割合【100%】	生徒アンケートにおいて「学校は生徒の個性を伸ばし、将来への希望を実現させようと努力している」と答えた生徒の割合【88%】 「授業の内容や指示はわかりやすい」と答えた生徒の割合【95%】	×	<ul style="list-style-type: none"><li>大多数の生徒が授業内容を肯定的に捉えていることがわかる。</li><li>自主的に進路に取り組む生徒の姿勢を周囲から支援していることがわかる。</li><li>教職員、保護者は生徒が自主性を発揮できるように支援する姿勢を持つ必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生徒個々の進路希望達成に向け、主体的な学びへの姿勢を育てるように、個別面談を中心に適切な支援を行う。また、3年生の平常課外・長期休業中の講習における生徒の講座選択制を継続する。</li><li>難関大学を目指す生徒に対し授業と添削を通じ目標を達成するに十分な学力を身につけさせる。</li></ul>
自律の精神を養い、自他を尊重する気風を確立する	基礎力確認調査において「自分によいところがある」と答えた生徒の割合【80%以上】	基礎力確認調査において「自分によいところがある」と答えた生徒の割合【84%】	○	<ul style="list-style-type: none"><li>SGH等を通じ生徒が自己肯定感を培っている状況がわかる。</li><li>今後もボランティア活動などを通じて社会と関わる活動から自己肯定感を育てる必要がある。</li></ul>	部活動や諸行事、個別面談等を活用して生徒理解に努め、生徒一人ひとりが自己肯定感をさらに高められるように支援する。
健やかな体と豊かな心を培う気風の確立	生徒アンケートにおいて「学校は生徒が“健康で健やかな体をはぐくむ”ために積極的に取り組んでいる」と答えた生徒の割合【97%以上】	「学校は生徒が“健康で健やかな体をはぐくむ”ために積極的に取り組んでいる」と答えた生徒の割合【87%】	×	<ul style="list-style-type: none"><li>生徒が健康的な状態を維持する意識を持つ必要があることがわかる。</li><li>環境面を整えると同時に、さらに生徒の意識に働きかける必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>いじめに関するアンケートや行動観察を通して生徒の状況を把握し、問題の早期発見と情報共有に努め、迅速かつ適切な対応を行う。</li><li>生徒の実態に即した保健講話を実施する。</li></ul>